

水稲極早生品種ミネアサヒの本田生育特性と栽培法

今林惣一郎・松江勇次・小宮正寛・原田皓二 (福岡県農業総合試験場)

Souichirou IMABAYASHI, Yuji MATSUE, Masahiro KOMIYA and Kouji HARADA : Growth Pattern and Cultivation Techniques of Extremely Early Rice Cultivar "MINEASAH1"

ミネアサヒはコシヒカリ並の食味を有し、いもち病や倒伏に強いことから1984年本県で準奨励品種に採用した。

良質・良食味で作りやすいため、県下の早場米や良質米生産地帯を中心に作付が増加しており、今後は本県の銘柄米候補品種として、普及を図ってゆく方針である。

このため、本県では1983~1985年の3カ年にわたり、ミネアサヒの本田生育特性と良質安定栽培法を確立するため、移植時期、施肥法および苗の種類、収穫適期について試験を行った。ここでは1984年~1985年の結果を中心にその概要を報告する。

1. 試験方法

1) 供試品種 ミネアサヒ, コシヒカリ, 日本晴。

2) 移植時期 5月20日(早植え), 6月10日(標準植え), 7月1日(晩植え, 1985年のみ)。

3) 施肥量 (N成分kg/10a), 標肥(多肥)…基肥5(6), 第1回穂肥1(2), 第2回穂肥1.5(1.5), コシヒカリは標肥, 日本晴は多肥区のみ。なお, 早植えでは早期穂肥区を一部設定。

4) 苗の種類 稚苗, ポット成苗(1985年のみ)

5) 刈取時期および調査方法 標準植え, 標肥区について, 推定成熟期前12日~14日から2~3日おきに9~10回, 籾水分, 籾の外観, 精粒重歩合, 検査等級を調査。

2. 結果および考察

1) 移植時期と出穂・成熟期, 収量 コシヒカリに比べて, ミネアサヒの出穂期は標準植えで2日, 成熟期は6日遅く, その差は早植えでは小さく, 晩植えほど大きくなった。また, 日本晴に比べると出穂期は標準植えで6日, 成熟期は8日早かった。なお, 出穂・成熟期の年次間変動は両品種に比べて, ミネアサヒが大きかった。収量は標準植えに比べて, 早植えでは登熟歩合の向上によ

り増収し, 逆に晩植えでは登熟歩合の低下により減収した。品種間ではコシヒカリに比べて, ミネアサヒは早植えで同程度, 標準植え, 晩植えではやや勝ったが, 日本晴よりはやや劣った。倒伏はコシヒカリに比べて, ミネアサヒが各移植期とも少なかった。ミネアサヒはコシヒカリと同様, 早植えによる増収効果が認められており, 作柄安定の面から移植期が遅れないよう留意する必要がある。

2) 施肥法・苗の種類と収量・収量構成要素 標肥区に比べて, 多肥区は穂数, m²当たり総粒数が多く, 早植えでは2カ年とも増収した。しかし, 標準植えでは粒数過剰となり登熟歩合が低下(一部籾枯細菌病の影響)し減収した。また, 早期穂肥区は, 標肥区に比べて, 多肥区と同様, 穂数・粒数増によりやや増収した。

苗の種類間では稚苗に比べて, ポット成苗区はm²当たり総粒数も多く, 登熟歩合に差がなくやや増収した。また, 出穂・成熟期は稚苗より2日早かった(データ略)。

以上のことから, 玄米収量500kg/10aを安定生産するためのミネアサヒの施肥量(N成分kg/10a)は基肥5, 第1回穂肥1~1.5, 第2回穂肥1.5が適当である。しかし, 早植えや地力やや劣る圃場条件の場合には日本晴の施肥量に準ずる。第1回の穂肥時期はコシヒカリと同時期で差支えないが, 早植え等で葉色の低下がみられる場合には通常の4日前(出穂前22日頃)の施用に努める。苗の種類間では稚苗に比べて, ポット成苗の有利性が確認された。

3) 収穫適期 精玄米重歩合および検査等級からみたミネアサヒの刈取適期幅は標準植えで9月20日~9月28日(籾水分27%~21%, 積算気温920℃~1,100℃)であった(データ略)。

第2表 施肥法・苗の種類と収量・収量構成要素

移植期	施肥法 苗の種類	m ² 当たり 穂数	m ² 当たり 総粒数	登熟歩合	a 当たり 玄米重
5月20日	標肥	322	×100粒 277	% 90.4	kg 53.1
	多肥	339	299	87.3	54.4
	早期穂肥	340	321	86.2	54.3
6月10日	標肥	369	315	75.1	50.4
	多肥	389	347	64.7	47.7*
"	標肥・稚苗	366	294	81.1	51.1
	"・成苗	362	316	81.0	52.2

注) 1. 1984年~1985年2カ年の平均値, ただし稚苗, 成苗区は1985年のみ。

2. *: 1984年籾枯細菌病多発

第1表 出穂期, 成熟期, 収量, 倒伏

品種名	移植期	出穂期	成熟期	a 当たり 玄米重	倒伏
ミネアサヒ	5月20日	8月1日	9月6日	53.1kg	1.0
コシヒカリ		0	-3	101	+3
日本晴		+10	+13	102	+0.3
"	6月10日	8月15日	9月26日	50.4	0.8
		-2	-6	96	+3.5
		+6	+8	103	+1.0
"	7月1日 (参考)	8月27日	10月10日	38.9	2.0
		-3	-7	93	+2.0
		+2	+5	107	+1.0

注) 1984~1985年2カ年の平均値。ただし, 7月1日植は1985年のみ。